

シリーズ[®]

生涯学習

成人期の学習

生涯学習グループの紹介

生涯学習社会を迎え、町内でもたくさんの方が、それぞれの目標に向かって学習をおこなってられます。

○テレビで英会話を学ぶ
○通信教育で資格をとる

などの個人学習はもとより、同じ仕事をもつ者が集まって生産や流通について学んだり、自治会集会を利用して、環境問題を学習するといった集団学習も今までに増して多くみられるようになりました。

最近では、職業、地域にとられず、いろいろな職業や様々な経験をもった人たちが自主的にグループをつくり、自分たちの生活を見つめなおしたり、新しい分野の学習に挑戦するといったことも耳にします。

このような傾向のなか、市の「だるま会」の活動を紹介します。企画から運営まで全員で話し合い活動されています。

市だるま会

代表 名和田サチ子

グループの名称は「だるま会」と言います。それは、ころんでもころんでも起き上がるだるまさんのように、生涯を生きたいという思いをこめてつけられたものです。只今



ボランティア（おしめづくり）

平成元年度 「だるま会」のあゆみ

月	活動状況
4月	体力づくり 山のぼり（日置町千畳敷）
7月	ボランティア 明和苑奉仕作業
8月	リフォーム（古いワイシャツでエプロン）（3日間）
9月	自治会腰輪おどりの草履づくり
10月	手芸（編物）
11月	文化祭参加（作品展示）
12月	しめかざりづくり（5日間） 独居老人へ贈る
1月	グランドゴルフ
3月	反省会と次年度活動計画
※	毎月第3日曜日 ごみステーション清掃 ご老人へ優しい声かけ

だるま会に、はいりませんか。

会員は十二名です。公会堂を拠点としていろいろな学習活動を続けています。別に講師をお招きしたりはしませんが、会員の中の誰かが公民館で行われる婦人学級で学んだことや、特技をもっている人がリーダーとなって、学習活動を行っています。今年度は、萩の名所旧跡の探訪から始めました。三隅町に長年住んでいても、維新の志士を輩出した歴史の町「萩」を見学したことはありませんでしたので、大変よい勉強になりました。できることならもう一度、自分の足で歩いて

見たいと思いました。少々無理ではないかと思う内容があっても誰も不平を言わず、自分の生活時間をやりくりして参加しています。それは、グループに参加することで、喜びや楽しみがいっぱいあり、それに少しばかりの益があるうえに、地域や社会のために役立っているというプライドがあるからだと思えます。よいリーダーに恵まれて、みんなで好きな事を言いながら頑張っています。



男性も交えてぞうりづくり